

## 日本製鉄が US スチールを完全子会社化 直ちに格付は見直さず、財務運営方針と PMI を注視

以下は、日本製鉄株式会社（証券コード：5401）による United States Steel Corporation（US スチール）の完全子会社化についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) 6 月 18 日、当社は US スチールを完全子会社化した。約 2 兆円の株式取得費用をはじめ、当社の財務面には大きな負荷がかかるが、JCR は本件をもって格付を直ちに見直す必要はないと判断している。世界最大の高級鋼需要国である米国での事業基盤が強化されること、ハイブリッドファイナンスの活用などによって当座は一定程度の財務構成を維持できることによる。
- (2) 今後は、中期的な財務運営方針、US スチールの PMI の状況や業績改善の見通しなどを精査の上、格付に反映させる。当社は米国政府と締結した国家安全保障協定（NSA）の中で、28 年までに US スチールに対して約 110 億ドルの投資を予定している。国内でカーボンニュートラルに向けた電炉プロセスへの転換投資も見込まれる中、当社全体のキャッシュフロー創出力が伸び悩む場合などには、財務改善が遅れる可能性がある。また、NSA や米国政府が持つ黄金株により、US スチールの経営は一部の制約を受けることとなる。鉄鋼業界を取り巻く事業環境も世界的に厳しく、当社が見込むスピード感で中期的に US スチールが収益力を高めていけるかには不透明感が残る。

（担当）水川 雅義・佐藤 洋介

### 【参考】

発行体：日本製鉄株式会社

長期発行体格付：AA

見通し：安定的

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等することは禁じられています。

### ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会が定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル